

明石海峡大橋 2億台突破

本州と淡路島を結ぶ世界最長のつり橋「明石海峡大橋」（全長3911メートル）の通行車両が、累計2億台を突破した。

1998年4月の開通から2008年度までの通行台数は、割高な料金設定などが響き、1日当たり平均約2万2千〜同5

開通19年4カ月

千台で推移。09年に「休日上限千円」を導入して以降は3万台を超えた。14年にはさらに90

0円（乗用車のETC利用時）

に値下げし、今年5月には4万台を記録。累計1億台には11年

3カ月かかったが、2億台は8

年1カ月で達成（今月11日）し

2度の値下げで利用増

た。

本州四国連絡高速道路会社（神戸市中央区）は「09、14年の料金の値下げで利用が大きく伸びた。四国などへの観光ブームの効果も大きい」と分析。兵庫県によると、開通前の1997年度に723万人だった淡路島の観光客数は、開通後は1千万人程度で推移している。

同社は18日午前10時〜午後3時、淡路市の淡路サービスエリア（SA）で記念イベントを開く。淡路島の特産品や記念品のプレゼント、タマネギの重量当てクイズなどがある。同社神戸管理センター ☎078・709

・0084

（小西隆久）